

2020年9月1日

福岡土壤医の会の新規会員 各位

## 土壤医資格維持更新の為の継続研鑽に必要な CPD 単位取得について

土壤医資格登録者の有効期間は3年です。

更新手続きには、継続的研鑽（CPD）が必要で、最低でも30単位（1年間平均10単位）以上が必要となります。

CPD単位が取得可能な継続研鑽活動には、以下のものがあります。

- ① 「日本土壤協会」又は「土壤医の会」が主催、共催、事務局となる研修会、講習会、講演会、シンポジウム、研究会、現地見学会、土壤医の会の活動報告会等への参加（1単位/時間）

日本土壤協会が今年主催する研修会等は、土壤医検定研修会（16ポイント）、土づくりに関する実践的研修会各（10ポイント）が予定されており、いずれかに参加できれば単年の目標単位はクリアできます。

<http://www.doiken.or.jp/info/2012-06-27-12-43-31.html>

土壤医検定研修会（2日間で参加費：21,000円→土壤医の会会員18,900円）

1級レベル	11/24-25（火・水）	東京（連合会館）
2・3級レベル	10/13-14（火・水）	福岡朝日ビル
	11/16-17（月・火）	東京 貸教室 内海
	12/1-2（火・水）	札幌コンベンションC
	12/14-15（月・火）	大阪エルおおさか

土づくりに関する実践的研修会（参加費：15,750円→土壤医の会会員14,175円）

中上級レベル	10/26-27（月・火）	東京ちよだプラットフォームSQ
初中級レベル	3/3-4（水・木）	神奈川JA全農営農・技術センター

「福岡土壤医の会」共催の「土壤医検定受験対策講習会3級受験コース」（9月26日～11月7日の間の5日間・18ポイント、参加費40,000円）、「2級受験コース」（11月14日～12月11日の間の4日間・16ポイント、参加費未定）の受講でもクリアできます。特に3級受験コースはZoomでのオンライン受講も可能です。 [https://www.agrigarden.co.jp/license\\_course.html](https://www.agrigarden.co.jp/license_course.html)

尚、福岡土壤医の会では、その他研修会、研究会、現地見学会等の予定は現在未定で、メンバーからの要望や提案により開催を企画したいと考えてます。その企画への参加も単位取得の対象となります。

- ② 上記の研修会等や地方自治体、民間団体、企業が公式に開催する研修会等における講師、パネラー、

助言者としての活動は、3単位/時間となります。自ら勉強会等を企画して発表することも可能です。

③ その他、単位が認められる、個人での活動としては以下のものがあります。

- ・土づくり普及のための土壌医の会以外の方を主な対象とした研修会の講師（4単位/時間）
- ・土づくり普及のための、土壌医の会以外の方を主な対象としたpH等の測定・診断相談会の指導者（4単位/回）
- ・土づくり関係雑誌の定期購読（3単位/年）
- ・土づくり関係図書の読后感想レポート（アドバイザー800字程度、マスター1200字程度、土壌医1600字程度、2単位/件）

④ その他、特に先々1級を受験し土壌医を目指す方は以下の取組みが望まれる。

土づくりの実践、指導及び実証調査による作物の収量・品質改善やコスト低減成果を目標とした活動をレポートとして提出し、その業績により5～60単位/件取得できる。このレポート作成活動は、1級受験時に提出が必要となる業績レポートとすることもできる。

具体的には、

- ・土壌診断や生育診断による作物生育改善等の成果
- ・地域の作物生育不良要因を解明し、改善対策を実施した成果
- ・地域に適合した土壌・施肥管理の指針を確立し、生育改善等を図った成果
- ・土壌診断や生育診断を行う上で基準や指針として活用できる成果
- ・現地実証調査による成果（排水対策、資材等の効果）
- ・新技術導入による実証成果（施肥方式、灌水方式等の改善）
- ・創意工夫による土づくりに関係する改善成果

※ 詳細については、日本土壌協会の「CPD認定対象プログラム内容とCPD単位」をご覧ください。

[http://soil-doctor.net/wp-content/uploads/2019/10/cpd\\_prog201909.pdf](http://soil-doctor.net/wp-content/uploads/2019/10/cpd_prog201909.pdf)

資格登録と継続研鑽に関する要綱は下記をご覧ください。

[http://www.japan-soil.net/doiken/dkai\\_yo20180130.pdf](http://www.japan-soil.net/doiken/dkai_yo20180130.pdf)

以上